第10巻　第1号（通号111号）　　発行日2026年9月30日(不定期)

HP：https://rakuno.org/

同窓会通信 －野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学　同窓生関連の最近の話題

トピック（スケジュール）

08月29日　兵庫県支部総会
09月03日　貴農同志会懇話会
09月05日　緑風会宮城県支部同窓会
09月07日　獣医12期同期会
09月09日　獣医３期同期会
09月11日　埼玉県支部バスツアー
09月12日　関東東京神奈川合同総会
09月17日　獣医８期同期会
10月03日　獣医27期同期会
10月03日　青森県支部総会
10月03日　札幌支部総会/ﾐﾆｻﾛﾝ
10月09日　獣医学科三愛賞授賞式
10月11日　大学アーチェリー部同窓会
10月13日　短大Ⅱコース12期同期会
10月21日　肉製品ゼミ8,9期同窓会
11月02日　短大７８４の会
11月11日　短大Ⅱコース９期同期会
11月14日　道南地区同窓会
11月14日　東北地区福島県支部総会
11月14日　中国地区鳥取県支部総会



関東甲信越地区/東京都支部/神奈川支部　合同総会報告



9月12日に関東甲信越地区総会、東京都支部総会、神奈川県支部総会の共催で行われたので報告する。
同窓会野英二会長のご挨拶に続き関東甲信越地区の福山二仁会長より挨拶、続いて本学より岩野英知学長、石川和哉校長参加のもと会が進められた。
岩野学長からは獣医学類が募集数で全獣医科大学トップになったこと、新設した農環境情報学類が大幅に欠員（23人入学/80人募集）なった報告があった。
石川校長からはとわの森三愛高校が23年ぶりの黒字転換の報告があった。
講演では酪農学園大学名誉教授（株）インターリージョンCEO 金子正美様
東京都認定法人ねこ会　代表者岩田麻美子様、とわの森三愛高校アグリクリエイト科教諭、伊藤有輝様より講演をいただき普段には聞くことのできない貴重な講演をいただいた。
今回は関東甲信越同窓生たちで本学創立100周年に向けて何か貢献したいということでいくつかのプロジェクトが進んでいることの報告と同窓生以外にもこのプロジェクトに賛同いただいている他業種（新聞社、エネルギー関連、金融、スマート農業）の来賓4名の紹介があり懇親会では活発な議論が行われた。（文責　事務局　早田俊輔　）

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2026.04.01

２０２５年度　累計卒業生数

大学院　計	１，８１２名
大　学　計	３５，５４４名
短　大　計	９，４８７名
高　校　計	２２，５８４名
合　計　計	６９，４２７名

酪農義塾 計	３０３名
酪農学校 計	＊９１，５１７名

＊　出典酪農学園史２巻より

総合計　１６１，２４７名

地区支部の設置状況（　）は未設置

北海道１区：石狩　３支部（１）(江別)
北海道２区：道央　６支部（２）(空知1)(胆振2)
北海道３区：道南　５支部（２）(後志1)(後志2)
北海道４区：道北　６支部（１）(留萌1)
北海道５区：道東　６支部（０）　２６支部（6)

東北地区　：　６支部（０）
関東甲信越地区：１０支部（０）
中部地区：　７支部（０）
近畿地区：　６支部（０）
中国地区：　５支部（０））
四国地区：　４支部（０）

目次：

関東甲信越地区/東京都/神奈川総会　1
新潟県支部総会報告　2
緑風会宮城県支部同窓会　2
獣医学科８期生同期会開催報告　2
埼玉県支部バスツアー　3
獣医学科３期生「最終の集い」　3
大学酪融会定期学術セミナー報告　4
編集後記　4

同窓会開催報告

2026年度新潟県支部総会報告



全国的な猛暑が続く昨今、新潟県支部総会を７月２６日（日）午後３時半より開催を予定していましたが、当日は朝から会場となる新潟市内は洗浄降水帯による集中豪雨になり、生活道路の冠水などで、参加予定者の欠席や到着遅れの連絡が入る状況となってしまい、中止（延期）も検討しましたが、遠方からの来賓の皆様方は来場頂いていることから、開催時間を約３０分遅られさせた午後４時過ぎより少人数ながら開催致しました。事務提案の議案（役員改選含む）を滞りなく審議可決し午後４時５５分に無事閉会いたしました。

この度は来賓に中出哲也同窓会副会長、福山二仁関東甲信越地区会長、福田豊次期東京支部長にご臨席を賜りました。会員参加者は、当初８名を予定していましたが豪雨による当日欠席者が３名、５名での開催となりましたが、それぞれの議案を審議頂きました。

総会後には、報告交流として、３名のご来賓の皆様方からご挨拶頂いたあとに、出席者の皆様方より自己紹介とともに近況報告などをお話し頂きました。

その後には、すぐに参加者全員での記念撮影を行い、悪天候に伴う道路状況、公共交通機関の乱れなどを考慮し、３０分程度早めた午後５時３０分頃から懇親会を開催しました。天候状況も気になりましたが、お酒を酌み交わしつつ旧交を温め、予定していた２時間の開催となりました。

本年度の総会は、豪雨による緊急な対応もありましたが、ご来賓、参加者の皆様方のご理解とご協力により、無事に終了することができました。（文責　事務局　諸橋三年）



緑風会宮城県支部同窓会開催報告



9月5日（土）18時30分から、仙台市青葉区の「金市郎」において、緑風会（伊達な酪農OB）の会合が開催されました。

当日は、酪農学園大学から髙島英也理事長にもご出席いただき、OB12名を含む計13名が参加しました。

会では、髙島理事長から大学の近況や今後の方向性についてお話をいただきました。少子高齢化による入学生の減少や、これからの大学における教育環境の在り方などについてのお話は、私たち高校教育に携わる者にとっても、大変考えさせられる内容でした。

その後の懇親会では、会員一人ひとりから近況報告があり、和やかな雰囲気の中で親睦を深めました。約2時間の宴席でしたが、楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。

会の締めくくりには、参加者全員で「酪農讃歌」を歌い、盛会のうちに終了しました。

緑風会は、2014年に設立され、今年で12年目を迎えます。農業関連の教員OB会として、後進の育成とOB同士の絆を深めることを目的に活動しています。

今回の会を通して、改めてOB同士のつながりや絆の大切さを実感するとともに、これからも緑風会のつながりを大切にしていきたいと思う会となりました。（文責　千葉　隆）

ssssss

同窓会開催報告

関東甲信越地区埼玉県支部バスツアー報告

参加者：埼玉県支部会員ほか17名

9月11日（金）　天気　曇り

朝9時、熊谷駅南口に集まった一行17名を乗せたバスは、まだ夏の名残の残る町並みを抜け、一路秩父を目指した。今回の旅は後藤顧問の並々ならぬご尽力によって計画・実行されたもの。昨年の足尾鉱山と黒沢酉蔵の歴史を学ぶ渋いツアーから一転、今年は埼玉県随一の観光地・秩父地方への旅である。



車内では恒例の自己紹介に続き、吉田監事による「車窓解説」がひと役買った。折しも通り過ぎる深谷市について、名物の農産品はもちろん、新1万円札の顔となった渋沢栄一の記念館に展示されているというアンドロイドの話には、車内から思わず感嘆の声が上がった。

道の駅秩父でひと休みしたのち、いよいよ最初の目的地・三峰神社へ。ここは秩父の峡谷をかなり奥まで分け入った、まさに山深い場所にある神社だ。荒川上流の景勝地・長瀞をさらに遡るとダムがあり、そこから峡谷を進むと待っているのは、急斜面をジグザグに縫う山道。車がやっとすれ違えるほど幅の狭い一車線区間もあり、片側は絶壁というスリル満点のルートを約1時間かけて登り、ようやく標高1100メートルの駐車場に到着した。



通常、参拝者はここからさらに100メートル上の本殿まで長い階段を上ることになる。ところが今回は、後藤顧問のお知り合いがこの神社にいらっしゃった特別のご縁で、駐車場から本殿までバスで移動するという破格の待遇にあずかった。汗だくで階段を上る参拝者を横目に見ながら、一同ひそかに優越感を味わったのは、ここだけの話である。

三峰神社は本殿のほかにも様々な宗教施設を擁し、ホテル顔負けの宿泊設備まで完備されているのには一同驚かされた。この日の秩父の気温は23度だったが、山頂は15度。あたり一面を雲が覆い、まるで天空の城に迷い込んだかのような幻想的な空気に包まれていた。同窓会のために執り行っていただいた特別団体祈祷を終え、待ちに待った昼食へ。午後は秩父神社・秩父まつり会館へ移動し、3D映像で秩父夜祭を疑似体験。目の前に迫る屋台と祭りの熱気に、思わず身を乗り出す迫力だった。



締めくくりは宝登山神社への参拝。本来は「お参り」が目的のツアーでありながら、蓋を開けてみれば歴史的建造物を巡るテーマパークさながらの、笑いと発見に満ちた一日となった。

（文責　埼玉県支部　事務局長　大島龍太郎）

獣医学科3期同期会　「最終の集い」

昭和45年（1970年）3月、獣医学科3期生61名は野幌の学び舎を後にしました。

獣医師国家試験受験者56名、全員が合格し、それから早、半世紀を越え、100%到達は実現していません。



獣医学科同期会は、山下正亮教授（獣医内科学、北大獣医・陸軍獣医学校・インパール作戦従軍、80%以上の将兵が戦死）は、ご自身のご経験を踏まえ（第二次大戦中、獣医師の戦死者が、東京大学以外の卒業者が極めて高い）、「酪農学園大学獣医学科卒業生は、情報交換を常に心がけ、同窓生との連携に心がけよ」。との、お考えを受け継ぎ、世代間を超え、脈々と同期会は継続されております。

3期同期会は、昭和49年（1979年）10周年同期会。平成元年（1989年）20周年同期会。平成11年（1999年）30周年同期会。平成16年（2004年）35周年同期会（同期生の出身地鹿児島）。平成18年（2006年）37周年同期会「山下正亮先生お住まいの地、茨城県水戸市にてご夫妻をお招きし開催、山下正亮先生のお言葉は、同期会を出来うる限り継続し、酪農学園発展のため努力するよう」。

平成19年以降は、コロナ禍を除き、毎年、同期生の出身地で開催を継続しておりました。

3期同窓生は、80歳の記念すべき「傘寿」を迎えます事と、ご夫婦共々幾つかの病名を抱えておりますことから、同期会に参加頂く方々が、限定されることとを考慮し、本年をもって、3期同期会を終了することと致しました。

獣医学科3期同期会の「最終の集い」は、2026年9月9日、酪農学園大学附属動物医療センターに集合、事務課中屋まりな氏（森田教授、家畜行動学修士取得）より、説明と見学をさせて頂き、その後、スキルスラボに場所を移し、EAEVE取得に主導的役割を果たされご尽力を頂いた、鈴木一由教授（酪農学園大学獣医学群獣医学類、獣医臨床病理学ユニット）より、EAEVE取得後の臨床教育の説明を頂きました。

同期会懇親の宴は、新さっぽろ駅前ホテルエミシアに移し、同期生10名・奥様3名、更には、本年5月に旅立たれました、橋本弘二さんの遺影を持参頂いた、奥様とご長女様と共に、記念撮影をさせて頂きました。

橋本弘二さんは、奥様・ご長女様のお話によりますと、旅立たれる直前まで、「酪農学園大学獣医学科において、教育を受けたことを感謝し、生涯、獣医師としての職責を全うできたことが、人生の誇りであると話されておりました」合掌

懇親の宴における、近況報告においては、歩けない・足腰が痛い等々の自己診断内容の説明が有りましたが、　それなりに血中アルコール数値は進み、2次会は予定外でしたが、札幌市を一望出来るラウンジへ、

話題は、「楽しかった野幌での生活、教えを頂いた先生方の思い出、子供・孫の話等々、更には、来年も懇親会を開催しては、誰が、幹事を行う、返事なし」。

翌朝（9月10日）、前日の話は忘れ、ロビーにて、「元気で、また、会いましょう」、静かに帰路につきました。

（獣医学科3期内科学教室　同期会幹事　福　山　二　仁）

〒069-8501
北海道江別市文京台緑町582
酪農学園同窓会
電話 011(386)1196
FAX 011(386)5987
Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.

酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業
2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。
Tシャツ原価を引いた1,000円程度が
学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色：ネイビー
左胸ワンポイント
・背中A4サイズ程度（白プリント）
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

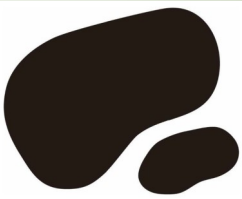
募集要項(7月よりホームページにて全文公開)
1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学：研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校：基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設：旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先：事務局財務課　011-388-4148（寄付担当）



酪農学園大学
ブランドマークとキャッチフレーズ

**生きるを学ぶ。
学びが生きる。**



酪農学園大学酪融会定期学術セミナー開催報告



本同窓会は、乳製品研究室初代教授故遊佐孝五先生が、卒業生親睦の機会を作る目的で、これまで定期的に開かれてきた「遊佐会」を改称したものです。遊佐先生在職中は毎年1月3日に開催されたそうですが、現在はしばらく開催されていませんでした。直近の研究室単位でのイベント開催は、2011年秋の2代教授・故安藤功一先生を偲ぶ会（札幌パークホテル）、2024年2月の3代教授・竹田保之先生退職パーティー（札幌市内レストラン）以来の開催でした。

当日はANAクラウンプラザホテル札幌23階白樺の間を会場に、遠くは九州熊本・福岡から80歳を超える方から、今年3月に卒業したばかりの方、そして現役の学生と幅広い世代の方々、61名にお集まりいただきました。

まず、発起人代表として荒井義久氏（酪農18期、北海道酪農検定検査協会）から挨拶、本同窓会のなりたち、様々な支援をしていただいた方々の紹介などお話しいただきました。
つづいて、加藤勲氏（酪農3期、酪農大名誉教授）から、ご自身のこれまでの歩みをお話いただいた後、乾杯の発声がございました。
学内報告として、平山洋佑氏（食科15期、研究室講師）から実習室を中心とした現在の乳製品製造活動の様子、研究内容の紹介がございました。

同窓生の皆様から各年代を代表し、三住岩夫氏（短大10期）、山本博紀氏（酪農25期）、多田雅樹氏（食科2期）、菅原司氏（食科7期）、古座野智弘氏（食科19期）、そして山口紗梨那氏（食健12期）から思い出や近況をお伝えいただきました。
最後に、竹田保之先生から締めのお話、乾杯のご発生があり、会が終了いたしました。

この会は同門の集まりですので、終始にぎやかに思い出や、現状の共有など、活発にされていました。
今後、この会は後代の方に引き継がれます。定期となるかはわかりませんがいつか開催されるでしょう。次は、今回ご参加いただいた皆様をはじめ、今回都合によりご参加できなかった方々も多くおられますので、皆さまのご参加をお待ちしております。それまでお元気でお過ごしください。
（文責：栃原孝志（食科8期・研究室准教授、司会））

編集後記

シルバーウィークも過ぎ、北海道ではナナカマドの実が赤くなり、秋の気配が深くなってきました。つい最近まで冷房をかけていたのに、朝晩ストーブが恋しくなってきているこの頃です。

実りの秋を迎え、札幌の大通ではオータムフェスタが開催され美味しいビールと道内各地の美味しい食べ物が集まっています。母校訪問含めての来道をお待ちしています。

同窓会も半期を過ぎ、これから後半に入りますが、同期会や各種同窓会が全国各地で予定されています。

台風の心配もありますが、爽やかな秋を満喫しながら楽しい同窓会が開催されることを願っております。